

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

学校評価アンケートから今年度を振り返る

3学期は、来年度に向けて、今年度の教育活動を振り返る時期です。12月に、児童と保護者、教職員の三者から今年度の教育活動についてアンケートを行いました。そして、その結果をふまえ、今、職員で話し合ったり、学校運営協議会で意見をいただいたりしています。一部ではありますが、その結果をお知らせします。



資料1

児童：学校が楽しいですか

保護者：お子さんを通わせたい学校となっていますか

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



児童：学校で友達と仲良くしていますか

児童：学校での勉強はよくわかりますか



〈資料1〉保護者からは「通わせたい学校となっている」がほぼ100%と高く評価していただいています。一方、児童についても90%が「楽しい」としてはいますが、10%がそうではないと回答しています。1学期の始業式の日、子ども達に「明日も学校へ行きたいなあ」と思うために何をすればいいと思うか、一人ひとりカードに書いてもらいました。多かった答えは「勉強をがんばる」「いっぱい遊ぶ」「友達と仲良くする」でした。アンケートでは、「勉強はよくわかりますか」の問いかけに、約10%の児童が「いい」と答えています。子ども達にとって、勉強がよくわかることも、楽しさと強くつながっているのではないのでしょうか。来年度に向けて、子ども達がわくわくするような特別活動の充実や、仲間づくり、「わかる・できる」楽しさを大切に授業づくりを目指して取り組んでいきたいと考えています。

資料2

児童：ゲストティーチャーに教えてもらって楽しいですか

保護者：学校が、地域の「ひと・もの・こと」を活用することで、さちよ地域が大好きな子に育っていますか



〈資料2〉今年度も多くの地域の方にゲストティーチャーとしてお世話になりました。子ども達がとても楽しみにしているのがよくわかる結果です。地域の皆さんによって育まれている北っ子です。来年度もよろしくお願いします。

資料3

児童：スマホやゲーム、タブレットを使う時のルールはありますか



〈資料3〉家庭でのルール作りをお願いしてきましたが、なかなか改善されていません。平日に2時間以上使用している児童が20%、休日には30%を超えます。先日の入学説明会では、昨年まで丹波市の教育相談員をされていた大石先生にご講話をお願いしました。幼児期からスマホやテレビ・ゲームなどを使用し過ぎると、脳の発達に影響が出るそうです。とても便利なツールですが、安全・安心に使うことを身に着けることが必要とされる時代です。ご家庭でもお子様としっかりと話し合い、ルールを作っていただき、そのルールを守っていけるようご指導お願いします。